

石垣島への陸上自衛隊駐屯地配備計画に係る市民からの質問・要望事項
に関する沖縄防衛局の回答について

みだしのことについて、平成 30 年 5 月 16 日、同月 31 日及び 6 月 11 日に開催しました意見交換会において、参加住民の皆様から寄せられた石垣島への陸上自衛隊駐屯地配備計画に係る質問及び要望に関し、沖縄防衛局に見解を求めたところ、下記のとおり回答がありましたのでご報告いたします。

記

1 石垣島への配備規模（隊員 500～600 名程度）では、隊車両及び隊員自家用車等のくらの車両が配備されるのか。予定地周辺道路は狭隘のため、交通渋滞が生じ、住民生活への影響が生じる場合は、周辺対策事業等により道路の整備等も行うことは可能か。

【防衛局回答】

- 部隊の車両については、現在、具体的な車両数は決定していませんが、部隊車両の移動により渋滞を発生させるなどの問題は生じないよう運用していきます。
万が一、部隊大型車両の通行が一般車両の通行の支障となる場合は、防衛省の補助事業として道路を整備することは可能です。
- 他方、駐屯地内に居住を義務付けられた隊員以外は、自動車、2 輪車等で通勤することが想定されますが、その時々状況により通勤状況は変わるので一概に車両数を申し上げることは困難ですが、渋滞を発生させることのないよう対応していきます。
- いずれにしましても、石垣市や周辺住民の皆様のご意見を伺いながら、部隊運用において地元の皆様の生活環境に配慮いたします。

2 覆道射場及び弾薬庫に係る過去の事故データを提供してほしい。

【防衛局回答】

- これまで、確認できる範囲において、自衛隊の覆道射場では、場外に弾が飛び出した事例はなく、また、自衛隊の弾薬庫では、爆発事故が発生した事例はないものと承知しています。

3 覆道射場における防音の状況はどの程度か。

【防衛局回答】

- 覆道射場については、全周を鉄筋コンクリートで囲った構造であるため、騒音につ

いての影響はないと考えており、これまで確認できる範囲において、覆道射場における射撃による騒音苦情はないものと承知しています。

4 弾薬庫の位置について、配置案では民家に近い場所となっているが、どうしてもその場所でないといけないのか。民家から遠い場所への変更は可能か。

【防衛局回答】

- 弾薬庫の設置に当たっては、火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬、消費その他の取扱を規制することにより、火薬類による災害を防止し、公共安全を確保することを目的としている「火薬類取締法令」を遵守し、周辺の家屋等から十分な保安距離を確保する配置としています。
- また、弾薬庫の安全管理においては、24時間態勢で弾薬庫における警備を行うとともに、全ての隊員に対し、火薬類の安全管理に必要な教育を行うなど安全対策や事故防止に努めてまいります。
- 駐屯地の施設配置においては、警備部隊等の運用に必要な施設を配備することを念頭に、部隊の効率的な運用や維持管理に資するように、適切な施設配置、動線の簡略化などの検討を行い、周辺県道等からの景観などにも配慮し、施設配置案を策定したところです。
- 他方、調査等を行う中で、施設配置案の細部が変更になる可能性はあると考えています。

5 ヘリは常駐するのか。常駐しない場合でもヘリの発着はどの程度あると予想されるか。

【防衛局回答】

- 石垣島にヘリを含む航空機を配備する計画はなく、ヘリパッドを整備する計画もありません。また、駐屯地建設を予定している「平得大俣にある市有地及びその周辺」にヘリを含む航空機を恒常的に離発着させるような計画はありません。
- 他方、急患輸送や災害派遣等で航空機を使用する際は、石垣空港を使用することになりますが、石垣空港が使用できない場合や緊急事態においては、全国各地の駐屯地と同様に一時的に駐屯地内で離着陸する可能性はあります。

6 配備予定地は水源地であることから、水の保全、安全対策についての考えを示してほしい。

【防衛局回答】

- 石垣市の条例等において、配備予定地が水源地として規制されているとは承知していませんが、防衛省としては、駐屯地からの生活雑排水や油脂類を使用する施設か

らの排水に関して、関係法令等を遵守し、周辺地域を汚染することの無いよう浄化槽や油水分離槽などの設備・施設を設置します。

- いずれにしましても、駐屯地における排水処理については、周辺環境に十分に配慮し、石垣市と調整を行い、検討してまいります。

7 施設内の隊庁舎は独身者用で、子どもがいる隊員は施設外での居住と聞いているが、予定地近郊の大本小学校の活性化の観点から、隊員の子を大本小学校に通わせることは可能か。

【防衛局回答】

- 基本的に子供のいる隊員については、駐屯地の敷地外に整備される宿舎又は民間賃貸住宅等に居住することになると考えております。
- 現時点では宿舎の設置場所が決まっていないため、隊員の子供が通う小学校を具体的に申し上げることは困難ですが、いずれにしましても、宿舎の設置に当たっては、地域の皆様のご意見を踏まえながら、部隊の即応性の確保や宿舎の規模・周辺環境など、宿舎建設のための諸条件を総合的に勘案し、今後、具体的な検討を進めていきたいと考えております。

8 地对空誘導弾及び地对艦誘導弾は、何基配備されるのか。

【防衛局回答】

- 現時点において、石垣島へ配備する地对艦誘導弾及び地对空誘導弾の具体的な基数は決まっておりません。

9 配備予定地内の私有地について、所有者が売買に同意しない場合は強制収用するのか。

【防衛局回答】

- 防衛省においては、今後、配備に向けた諸手続の一環として調査等を進めていく中で、地権者の皆様には、用地取得に向け、ご理解を頂くように丁寧な説明に努めてまいります。

10 配備予定地を平得大俣と選定した理由は何か(当該予定地は石垣島でのパイン発祥地であり、良好な農地である)。

【防衛局回答】

- 配備する部隊が必要とする地積や地形等、総合的に勘案し、「平得大俣の東側にある市有地及びその周辺」を配置先として選定しました。

11 配備に伴い、水の安全性への影響は起こり得るのか（汚水や有害化学物質の流出等による飲料水、農産物への影響）。

【防衛局回答】

- 駐屯地からの生活雑排水や油脂類を使用する施設からの排水に関しては、関係法令等を遵守し、周辺地域を汚染することのないよう適切に浄化槽や油水分離槽を設置するなど関係機関と調整を行い、取り組んでまいりたいと考えています。

12 予定地内において、石垣市自然環境保全条例で指定された保全動植物が確認されているが、その保全方法はどのようにするのか。

【防衛局回答】

- 石垣島への陸自部隊配置に伴う施設整備においては、環境現況調査を行い、周辺から工事区域への小動物の進入を防止する柵の設置や希少種の移植など、必要となる対策を実施したいと考えています。
- いずれにしましても、石垣市自然環境保全条例を遵守し、今後、石垣市と調整しながら自然環境の保全に取り組んでまいりたいと考えています。

13 配備予定地内の市有地について、売払いではなく、貸付とすることは可能か。

【防衛局回答】

- 自衛隊が使用する駐屯地等の用地取得については、防衛施設を安定的に使用する観点から、売買契約による取得を考えています。今後、石垣市と相談しながら進めていきたいと考えています。

14 駐屯地内の訓練場において、空砲を使用した訓練は実施されるのか。

【防衛局回答】

- 現時点において、具体的な計画はありませんが、一般的に訓練において空包を使用する場合は、予め周辺地域の皆様にお知らせするとともに、空包を使用する日時についてご相談させていただきます。

15 災害時を除き、夜間等に騒音を発することがあるか。

【防衛局回答】

- 一例として警備部隊等が夜間に行う訓練は、訓練場内における隊員や車両などの行進訓練であり、大きな騒音を発生させることはないと考えていますが、訓練の内容

については、検討している最中であり、具体的にお答えすることは困難です。訓練の内容・要領については、地元への影響を極力、低減させるよう検討してまいります。

16 周辺住民が騒音被害に悩まされた場合、そのことに対する補償（防音対策や冷房代の補てん等）はされるのか。

【防衛局回答】

- 一般的に自衛隊施設周辺において実施している防音対策事業は、飛行場施設による航空機の離着陸等の騒音などを対象に実施しているものであり、石垣島に配置される部隊においては、騒音被害が見込まれる施設や訓練等は計画していませんが、部隊の運用に当たって、地元の皆様のご意見・ご要望があった際は、適切に対応させていただく考えです。

17 駐屯地内に売店が開設された場合において、そこを地域住民も利用できるようにしてほしい。

【防衛局回答】

- 駐屯地は平素開放しておらず、地元の方々が通常、駐屯地内の売店を利用することはできませんが、全国の駐屯地においては、駐屯地内に設置されるグラウンド等について、部隊運用や財産管理に支障がない範囲で、付近の青少年の健全なスポーツ等の場としても活用していただく場合、また、駐屯地記念日行事や季節の催事等において、地元の方々に駐屯地を開放している場合には、駐屯地内の売店を利用いただいています。
- なお、石垣島の駐屯地に建設されるグラウンド等の使用につきましては、地元のご要望や駐屯地開設後の部隊運用等を踏まえ、個別に調整させて頂きたいと考えています。